

# 中国・南開大学留学生「そば打ち体験教室」の開催報告



全麵協と國學院大學(渋谷キャンパス、たまプラーザキャンパス)は「文化交流協定」を締結して交流を行っています。この文化交流協定に基づいて、國學院大學で開催される「夏季日本短期留学プログラム」に全麵協にそば打ち指導の協力依頼がありました。このほど、中国天津市にある南開大学の留学生に対して「そば打ち体験教室」を開催しましたのでご報告します。

【地域振興部・地域活性化部会長 芳田時夫】

- 1、期日：平成29年7月12日(水)
- 2、会場：國學院大學たまプラーザキャンパス 調理実習室
- 3、参加者：南開大学の留学生等15名、日本人学生21名 合計36名
- 4、指導者：全麵協 寺西恭子、鈴木光雄、横田節子、廣澤幸雄、芳田時夫 合計5名

5、内容：最初に留学生に対して廣澤・横田の2名でデモ打ちをしながら日本のそば文化と歴史、そば打ち解説をしました。その後、日本人学生も入れて1組3~4人でそば打ち体験をしました。打ち終えたそばは、鴨汁とそばがきを揚げたものも合わせて試食しました。



6、感想：参加者のアンケートからは、そば打ちデモはまるで芸術品を見ているようだ。日本人の匠の精神が表している。経験の積み重ねが重要で職業精神を感じた。日本のそば文化に触れ、自分で作って食べられたのはうれしい。そば切りの難しさとデモのそば切りの素晴らしさはびっくり。四角にのすのがおもしろい。そば歴史の興味を持ちました。……等々が寄せられました。



7、開催を終えて：留学生は日本で「そば」を食べた経験はあるものの、「そばの実(玄そば)」は初めて見たとのことでした。また、「感想」に寄せられていた通り、初めての「そば打ち体験」は大好評で、和食文化の代表である「そば打ち」を体験できたことは、意義ある貴重な体験になった様子でした。

